

平成25年度小・中学校理科教育ステップUP!プラン事業

「小学校理科学校内研修支援事業」

実施報告

上ノ国町立河北小学校

*学級数 4 *児童数 32

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道江差高等学校	教諭	加藤 雅大	生物

【本事業のねらい】

小学校第6学年「ものの燃え方と空気」の単元において、「物が燃えるときの変化について計画的に追究すること」について、木や紙の他に金属の燃え方を実験することによって理解を深めた。

【実施内容】

12月13日13:40~14:25、河北小学校理科室において、12名の児童を対象に、ものの燃え方と空気の単元の導入場面で金属を燃焼させ、燃焼の仕組みへの課題意識を醸成するため、テルミット反応や炎色反応の実験を行った。



【本事業での主な児童の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・高校の理科の先生が来てくれて、わかりやすく説明してくれたので、授業の内容がよくわかりました。
- ・実験してみて、色が変わることにびっくりした。とてもきれいだった。また、実験をしてほしい。
- ・木を燃やす実験も楽しかったけれど、金属の方が燃え方がきれいだったので、おもしろいと思った。
- ・授業後の理科のアンケートでは12名中11名が「理科が好き」と答え、以前のアンケート結果（12名中9名）よりも数値が高くなった。

【来年度以降の実施に向けて】

児童へのアンケート結果から、授業に対する満足感が高かった。複数回実施が可能であれば、是非実施したいと考えている。